

産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく

第19回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (1/2)

令和4年10月31日(月)に、国民會館(大阪市中央区大手前)において、第19回新都市社会技術セミナー(主催:新都市社会技術融合創造研究会)を開催し、約80名が参加し、各研究成果の発表が行われました。

- 新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三京都大学名誉教授)は、社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として、平成14年度に設置され、産・学・官の連携によって様々な技術研究プロジェクトに取り組んでいます。
- 平成15年に第1回セミナーを開催し、今回で第19回目を迎えました。
- 第19回セミナーは、コロナウイルス感染拡大防止のため、事前申込制とし、産:55名、学:1名、官:13名、その他:6名の計75名の方々が聴講されました。
- 本セミナーの講演の様子は、新都市社会技術融合創造研究会のホームページにて、オンデマンド配信を行っております。ぜひご覧ください。
- なお、本セミナーの講演資料につきましても、新都市社会技術融合創造研究会のホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



セミナーの様子

～講演プログラム～

開会挨拶 大西 有三 委員長(京都大学 名誉教授)

講演1 『土壌水分を考慮した斜面監視システムの実装』
プロジェクトリーダー 岸田 潔
(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演2 『ETC2.0プローブ情報を活用した渋滞要因分析システムの開発に関する研究』
プロジェクトリーダー 宇野 伸宏
(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演3 『長大橋の観測データの活用による維持管理支援システムの検討』
プロジェクトリーダー 金 哲佑
(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演4 『既設橋梁における高力ボルト継手の実態調査と安全性評価及び点検、補修方法の検討』
プロジェクトリーダー 山口 隆司
(大阪公立大学大学院 工学研究科 教授)

閉会挨拶 水野 宏治 副委員長(近畿地方整備局 道路部長)

◆大西委員長開会挨拶(概要)

この研究会は、産学官の三者が特定のテーマについて、研究を行い、その成果を発表し、最終的には現場実装まで繋げるということに力点をおいて活動をしています。セミナー開催は今年で19回目ですが、対面開催は3年ぶりということで、限られた時間ではありますが、皆様にとって有意義な場になれば幸いです。

◆水野副委員長閉会挨拶(概要)

本日、講演いただいた内容は近畿地方整備局にとって最優先の課題であり、大変勉強になりました。こういった場を今後もたくさん設け、より多くの人に聞いて頂き、更に研究を深め、現場実装へ向けて取り組んでいきたい。



大西委員長 開会挨拶



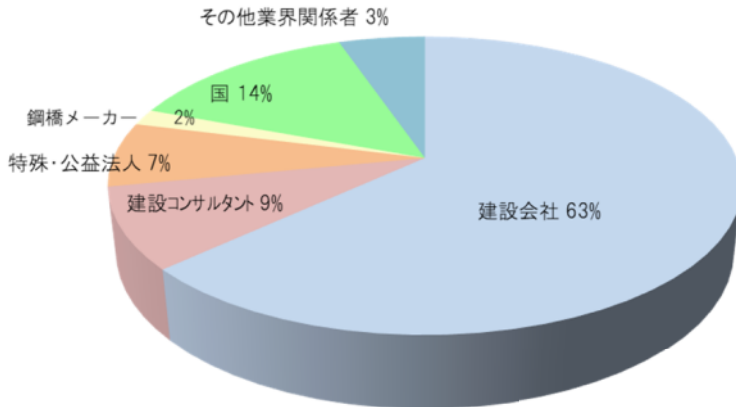
水野副委員長 閉会挨拶

産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく 第19回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (2/2)

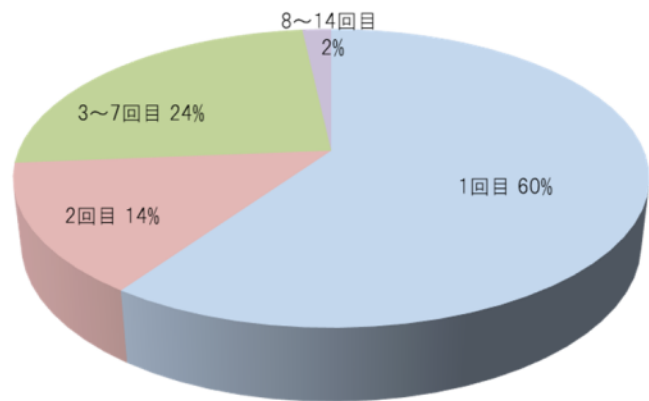
聴講者アンケート結果(抜粋版)

新都市社会技術融合創造研究会では、研究会発展のため、聴講者に対し、本セミナーに関するアンケートへの協力をお願いし、聴講者75名のうち、57名にご協力いただくことができました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

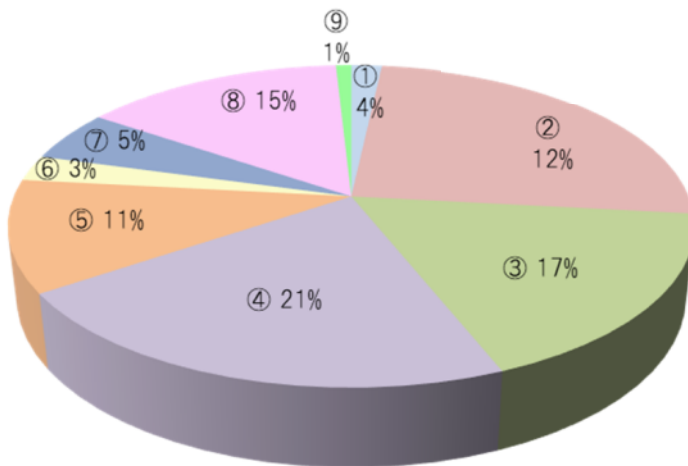
<1. 聴講者の所属>



<2. セミナーへの参加回数>



<4. 新たに取り組んでほしい研究テーマ>



- ① 舗装に関する研究テーマ
- ② 橋梁に関する研究テーマ
- ③ 維持管理に関する研究テーマ
- ④ 新技術・施工法に関する研究テーマ
- ⑤ 環境やリサイクルに関する研究テーマ
- ⑥ まちづくりに関する研究テーマ
- ⑦ アセットマネジメント
- ⑧ 防災に関する研究テーマ
- ⑨ その他

<10. その他の意見>

- 良かった点
 - ・ 1つのテーマに限らず、いろいろな分野のテーマの発表を聞くことができた。
 - ・ 極めて興味深い課題で有意義に学ぶことができた。
 - ・ 事前に発表資料を入手できた点がよかった。
- 改善すべき点
 - ・ テーマにより講演時間を変えても良いのではないか。
 - ・ 講演時間をもう少し長くしてほしい。
 - ・ 正面スクリーンが小さく、席位置によっては見えにくかった。
 - ・ web併用のセミナーになれば、より参加しやすい。